

ボランティア兵庫

2011年 1月号

CONTENTS

芦屋ボランティア連絡会創立25周年記念フォーラム開催	2・3
ボランティアを受け入れるための受援力 4 地域づくり活動情報システム コラボネット 6	



(写真：新しくなった芦屋市保健福祉センターの建物)

「芦屋市社会福祉協議会」 7月20日より芦屋市社会福祉協議会事務所が芦屋市呉川町
14-9、芦屋市保健福祉センターへ移転いたしました。



兵庫県 ボランティア協会

平成22年10月24日 芦屋市保健福祉センターにおいて創立25周年記念フォーラムを開催。

4部構成で（13：00～16：30）芦屋市民ら、約350人が参加した。ボランティア活動の実際を発表し、参加者と交流を深めた。

芦屋ボランティア連絡会会長（森幸子）の挨拶で開会し、芦屋市長 山中健氏、兵庫県ボランティア協会事務局長 後藤富枝氏の来賓による祝辞が続いた。

会長挨拶では、同会の理念とする「きずなのある明るい社会の実

現のために、活動を行い、連合体として福祉の向上と発展をめざす」ことを改めて発言し、1人1

人が「社会の中の私」であること自覚しながら、さらなるボランティア活動を多くの団体等と協働していくことを誓った。

どが話された。

同連絡会は、25年前に10団体の参加で発足して以来、現在登録17団体、会員数約400名が加盟。それぞれの得意分野で連携し、幅広い活動を行っている。

オープニングコンサートは、近年人気の高い二胡楽団による演奏で、参加者を美しい音楽の世界にいざなつた。客演のオペラ歌手周江平氏の母親を唄つた独唱は、会場で涙ぐむ人もいた心にしみる歌声だった。

基調講演では、障害者や高齢者の運動を科学的に研究される、慶應義塾大学院の准教授の仰木裕嗣氏に、具体的な支援の取り組みについて図解で、解りやすく講演していただいた。会場となつた芦屋市保健福祉センターの、障害者のための水浴訓練場等について専門家の視点から、解説された。

事例発表では4団体が活動事例を発表。「芦屋点字友の会」「朗読グループあし笛」、「図書館友の会」や高齢者への支援をしている「ボランティアグループとまと」の代表が活動を紹介した。阪神大震災を契機に活動をはじめた団体や、結成35年の息の長い活動をする内容の発表に、市民らは関心を寄せた。

芦屋市長からは、震災からの復興を果たした市の現状の報告とボランティア活動に対する、理解と感謝の言葉が、県ボランティア協会事務局長からは、無縁社会の解消の為にもボランティアが必要とされている現状な



パネリスト 芦屋市社会福祉協議会ボランティアコーディネーター 宮平太氏
司会 芦屋ボランティア連絡会会長 森 幸子
パネリスト 芦屋ボランティア連絡会役員 美野欣三郎氏
東芦屋町子ども会会长 石川あすか氏



芦屋ボランティア連絡会 創立25周年記念フォーラム 開催

高齢者遺棄問題や児童虐待など、目を覆う報道が氾濫する根底には、人と人とのきずなが失われている現実があります。



裕嗣氏 や市民らが参加し、次の25年を目指し、ボランティアを支援するボランティアの必要性や新メンバーの加入の呼びかけなど、活発に意見が交わされた。

ボランティアの受け手と、活動者との境界はなく、誰もがつながって協働していくことの重要性を確認して、締めくくった。

慶應義塾大学大学院准教授 仰木裕嗣氏

個々のボランティア活動では見えない部分も、多くの団体が連携・協力することにより幅広い支援活動が行えるのではないか?そこに連合体としてのボランティア連絡会のこれからの方針がしめ

された、意義のあるフォーラムであります。

開催内容

ボランティア「あの日からのあゆみ」

あなたと私をつなぐ【きずな】

1部♪♪オープニングコンサート

蓮昇二胡楽団とアンサンブル「茉莉花」による、二胡演奏&コーラス

独唱 周江平氏（客演）

2部 基調講演「スポーツ工学で支援する成熟社会」
（ボランティアするにも、まずは健康！）

講師 仰木 裕嗣氏

（慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科准教授 情報学部准教授）

創立25年のあゆみ

震災15年のボランティアの記録

◇4部 パネルディスカッション
テーマ 「次の25年をめざして、ボランティアに求められること

ボランティアを受け入れるための受援力

ひょうごボランタリープラザ所長 室崎 益輝

新年あけましておめでとうございます。

毎年のことですが、新年を迎えると「1.17」への想いが強く感じられるようになります。

兵庫県は16年前に阪神・淡路大震災に見舞われました。このとき、国内外から集まった130万人を超すボランティアの皆さんの活動が、今日の復興の礎となったことは言うまでもありません。

また、この大震災を機に、全国的にボランティア活動の機運が高まり、大規模な災害が発生すると、多くのボランティアがいち早く被災地に駆けつけ、被災された方々の救援や被災地の復興に取り組むという、自発的で、継続的なボランティア活動が行われるようになりました。

こうした復興の中で生まれた災害ボランティア文化が、市民社会に受け入れられ、定着しつつあることは大いに評価すべきことだと思っています。この未来につながる動きは、新しい協働社会、あるいは新しい公共というキーワードで表現することもできるでしょう。

ところで、救援や復興の協働ということでは、個々の被災された方々とボランティアの寄り添いに加えて、被災地コミュニティとの連携がどうしても欠かせません。被災者もボランティアも同じ人間です。ボランティア活動は、一方的に「与える」というものではなく、一人ひとりが生きる力をひきだすものでなければなりません。

被災地ではボランティアを受け入れる被災地コミュニティの「受援力」が、支援者は「人の役に立てた」という充実感を得るための「支援力」が、また、それらをつなぐ役割としてのボランティアコーディネーターは、支援と受援の善意をひきだす「コーディネート力」が、地域の防災力を高め、復興がより迅速に進むことになるでしょう。

これから先も予期せぬ災害は突然に発生しますが、どのような場面においても被災された方々に真摯に寄り添う協働的支援が展開されることを願っています。

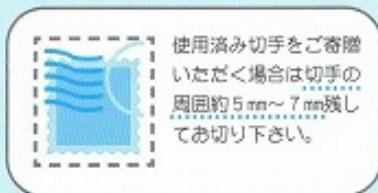
皆様のご協力をよろしくお願ひします。



おうちで、「書き損じはがき」と「宝くじのはずれ券」が眠っていませんか？ バザー用品提供のお願い

兵庫県ボランティア協会では、「書き損じはがき・未投函の往復はがきの半片」や「宝くじのはずれ券」をご寄贈いただき、ボランティア活動推進の資金に活用する運動を展開しております。
また定期的にバザーを開催しております。用品の提供も合わせて皆さまのご協力を
お願いいたします。

●お願い● 年賀はがき・官製はがき・往復はがきなどは、消印のないものに限ります。



使用済み切手をご寄贈
いただく場合は切手の
周囲約5mm～7mm残し
てお切り下さい。

【送り先】**兵庫県ボランティア協会**

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6F
ひょうごボランタリープラザ内 TEL / FAX (078) 360-8191

●財政支援会員（個人・団体）

平瀬 謙治 出射 士郎 杉浦 規子
 久保 洋子 狩俣 健 長田 博樹
 斎藤 貢代 保谷きよ子 大西 きよ
 藤原 元一 米田 豊 渡辺 昇
 池田千恵子 村田ひろみ 番尾 卓郎
 植原 敏行 木南 洋子 杉本 幸子
 奥井 齊
 篠風会神戸支部
 魚橋病院
 あゆみ会
 ひょうご子どもと家庭福祉財団
 あひの風
 兵庫県おもちゃライブラリー
 多賀町ボランティア連絡会
 ●古切手
 杉浦 規子 黒田 史子 福井 俊江



協力者ご芳名（順不同・敬称略）
 平成22年8月1日～平成22年11月30日

西明 弘子 和田 綾子
 雛子の会
 兵庫県教育委員会事務局財務課
 郵政退職者近畿共助会東播支部

特別養護老人ホーム 萬寿園

新温泉町社会福祉協議会 浜坂支部
 あひの風

株式会社 ユニペック

●書き損じハガキ

鈴木みつ子 和田 綾子

●未使用ハガキ

山田 一休

●ペルマーク

杉浦 規子 和田 綾子

●宝くじハズレ券

株式会社 ユニペック

●バザー用品

原田 芳子

使用済カードの収集は終了いたしました。
 ご協力ありがとうございました。

平成23年度 財政支援会費の御願い

ボランティア活動推進にご支援賜る、平成23年度財政支援会費に関しまして、本年度も引き続きよろしくご支援の程お願い申しあげます。

会費は個人会員1口2,000円から、団体会員1口5,000円からで何口でも結構です。なお、ゆうちょ銀行以外では下記の銀行口座(普通)への振込もできます。

但馬銀行 上筒井支店
 店番：339
 口座番号：0464818
 名義人：兵庫県ボランティア協会 会長 小西康生

ボランティア募集！

兵庫県ボランティア協会では、より充実したボランティア活動を推進するために、事務局ボランティア・事業ボランティアを随時募集しています。詳細は下記までお問合せください。

兵庫県ボランティア協会 ボランティア兵庫編集委員会

〒650-0044
 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6F
 ひょうごボランタリープラザ気付
 TEL 078-360-8191

雑感

かつて、日本で三種の神器といわれた物を、冷蔵庫、洗濯機、テレビと答える人は歳を重ねた人と言えるでしょう。

そののち、物理的な豊かさより、こころの豊かさを唱えられてからも相当の年月が経ちます。

それは、フランスの詩人ヴェルレーヌの「君、過ぎし日になにをかなせし」とうたったような感慨を思い起してくれています。

豊かな心を取り戻す手段はいくつかあるはずです。

そのひとつにボランティア活動があることはまちがいないことです。

豊かな心は豊かな人生につながります。

そんな年にしたいと今年もねがっています。今年は神戸フルマラソンもはじまります。よい一年でありますように G

ひょうご
ボランタリーブラザ

地域づくり活動情報システム

コラボネット

ひょうごボランタリープラザでは、子育てや高齢者の支援、緑化活動、まちづくりなどの地域課題に取り組む様々な活動やイベントや助成金情報を広く発信し、皆さんの活動の輪を広げていくためのきっかけ作りとして、地域づくり活動情報システム「コラボネット」を運営しています。

ぜひご利用ください。

インターネットや
申込書を通じて簡
単に申し込めます。

地域づくり活動
を旬な情報とし
て発信します。

団体のホーム
ページとして利
用できます。

さまざまな団体
の活動を知るこ
とができます。

イベント・募
集・支援情報
を発信します。

登録制度のしくみ

地域づくり活動を担う県民

- 地域団体 ■職域団体 ■NPO
- 既存のネットワーク登録者等

登録制度

活動を登録

公開

仲間づくり、活動の連携

活動に必要な
情報の提供

ひょうごボランタリープラザ

活動をもつ
と知って欲
しい

仲間が欲しい

活動に關す
る情報が欲
しい私も参加
したいなそんな方法が
あったのか!!そんな活動
があったの
か!!

- ◆団体が自分でパソコンを用いて簡単に情報発信することができます。
- ◆営利活動・宗教活動・政治活動に関する情報発信はできません。
- ◆その他コラボネットの詳しい情報については→プラザホームページ (<http://www.hyogo-volvo.jp>) の左部『コラボネットについて』をクリック。

★この機関紙は、ひょうごボランタリー基金の助成を受けて発行しています。★